

学校 番号	22	学校名	篠ノ井高等学校
----------	----	-----	---------

令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【令和3年 2月 4日（木）（書面会議）】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議（7名の学校評議員へ郵送）で実施。
- ・資料送付 2月4日（金）
校長あいさつ、全日制現況、学校評価
進路状況、生徒会
学年より
定時制現況、学校評価
- ・資料、ホームページを閲覧後、FAX、メールで感想、提言等をお寄せいただいた。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・コロナ禍のため、書面会議を実施し、ホームページ、資料によって学校の様子を伝えた。
- ・今年度の特筆すべき取組や主体的・探究的な学びに関する取組など項目ごとにどのような教育活動をしたかわかりやすく端的にまとめた。
- ・生徒・保護者・職員の学校評価アンケートをグラフ化し、見やすくわかりやすい資料にした。
- ・学校行事や授業の様子などの写真を入れ、学校の様子が視覚的に伝わるように資料を工夫した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・資料・ホームページから、コロナ禍の中でも、だいぶ落ち着きを取り戻している様子がうかがえた。また、活動が制限される中でも、生徒さんのために少しでも多くの取組や行事の実施に向けて、努力している様子がわかった。
- ・全体的にどの評価項目をみても大変よく取り組まれていて成果もでていていると思う。
- ・「地域との協働」の取組や生徒会活動における地域との関わりやボランティア活動にも生徒が積極的に参加していて、感心した。
- ・ホームページが、よい情報発信となっていて、学校の様子がよくわかる。
- ・目標に沿った活動が行われていると思う。今後もコロナで大変かと思うが、積極的に活動していただきたい。
- ・「地域との共同」事業特例校、WWL コンソーシアム連携校として、この2つの事業を十分に活用して、「主体的・探究的な学び」を深く掘り下げていただきたい。また、事業終了後も探究的な学びを継続していただきたい。
- ・定時制では、「校内生活体験発表会」や「卒業生から職業観を学ぶ」の講演会などが対面でできてよかった。今後もこれらの行事を継続していただきたい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・コロナ禍で教育活動が制限されてしまう中でも、様々な活動に積極的に取り組んで実践していることに概ね理解をしていただいた。
- ・「主体的・対話的で深い学び」は、来年度もさらに積極的に進めてほしいという意見をいただいた。校内で連携しながら、実施していきたい。

- ・海外との交流については、オンラインによる方法もよいのではないかという指摘をいただいた。今後検討していきたい。
- ・自転車事故が起こらないように指導の徹底をとという指摘をいただいた。交通安全講話などを行いながら、生徒たちに自転車の安全な乗り方についてしっかり指導をしていきたい。
- ・ホームページについて、さらにわかりやすくするための具体的な指摘もいただいたので、今後考えていきたい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。